

当病院は「ICT を利用した医療機関での脳卒中急性期診療の包括的改善のためのスキーム開発のための多機関共同観察研究」を行なっています

【研究の意義・目的】

脳梗塞とは、何らかの原因で脳を流れる血液が不足し、脳細胞が障害される病気です。主な原因は動脈硬化や心房細動などの不整脈で、主な症状としては、麻痺、感覚障害、呂律の周りにくさなどが現れます。発症後間もない脳梗塞では、詰まった血管の先にまだ完全に脳細胞が死滅していない領域が存在し、その部分の脳細胞を救うために血管の再開通療法が行われる場合があります。Recombinant tissue plasminogen activator (rt-PA) 静注療法や血管内治療といったこれらの方法は、発症早期に行うほど効果が得られやすいと言われています。そのため現在、病院到着から治療開始までの時間を短縮するために世界中で様々な工夫がなされています。その 1 つとして、IT を使用して脳卒中急性期診療支援する Task Calc. Stroke 3 (タスカル 3) という IT システムと、それを脳卒中診療に活用するためのプログラムが、藤田医科大学脳卒中科にて開発されました。

本プログラムを導入することにより医療現場での情報共有がスムーズになり、来院から治療開始までの時間が短くできることが期待されています。今回の研究は、本プログラムを当院を含めた全国の様々な病院に導入することで、各病院の脳卒中診療プロセスに与える影響・それに関連する因子を明らかにし、より有効なプログラムを開発することを目的として、計画されました。当院も共同研究機関として協力参加することになりました。

【研究の対象・期間・内容】

本研究に参加の全国の脳卒中急性期治療を実施する医療機関において2020年10月1日から2023年12月31日の間に、急性期脳卒中の治療を受けた患者さんを対象としています。研究期間は倫理審査委員会承認日から2024年3月31日です。

ご提供いただく情報は、治療に関係した時間情報、年齢・性別、身長、体重、既往歴、合併症、発症前後の身体状況、脳卒中病名、重症度、症候性出血の頻度、画像データ、血液データ等です。通常の診療の範囲内で得られた情報を研究対象としますので、患者さんに日常診療以外の身体的及び経済的負担が生じることはありません。なお、情報は、匿名化した上で、電子配信により藤田医科大学に収集し管理されます。この研究の責任者は藤田医科大学脳卒中科 松本省二 教授です。

【個人情報の管理について】

個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報は削除した上で、厳重に管理を行い、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の結果の公表(学会や論文等)の際にも個人が特定できる情報は一切含まれません。この研究に関わる記録・資料は研究終了後10年間保存した後、適切に破棄いたします。

【利益相反について】

この研究に関する必要な費用は「科学研究費補助金(基盤研究B 令和3~5年度)

「ICTを利用した医療機関での脳卒中急性期診療の包括的改善のためのスキーム開発

研究代表者:藤田医科大学 医学部 松本省二」を用いて行うものです。また、この研究により患者さんの利益(効果や安全性など)が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

当院における問い合わせ窓口

京都第一赤十字病院 脳神経・脳卒中科 部長 今井啓輔

〒605-0981 京都市東山区本町 15-749

電話 075-561-1121(代表)

研究責任者問い合わせ窓口

藤田医科大学病院 脳卒中科 担当者 松本省二

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

電話 0562-93-9759

第1版 令和4年1月11日作成